

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公開番号】特開 2003-189201 (P2003-189201A)

【公開日】平成 15 年 7 月 4 日 (2003.7.4)

【出願番号】特願 2002-325442 (P2002-325442)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/44

H 0 4 N 5/445

H 0 4 N 7/025

H 0 4 N 7/03

H 0 4 N 7/035

【F I】

H 0 4 N 5/44 H

H 0 4 N 5/445 Z

H 0 4 N 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 1 日 (2005.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】ビデオ装置にホーム・チャンネルを割り当てる方法であって、
前記ビデオ装置のユーザによって、プロバイダに対応するチャンネル・ラベルを選択するステップと、

前記プロバイダに対応する前記選択されたチャンネル・ラベルを記憶するステップと、
供給源からチャンネル情報を取得するステップと、

前記取得したチャンネル情報から、前記選択されたチャンネル・ラベルに対応する放送チャンネル周波数を決定するステップと、

前記ビデオ装置がオンにされたとき、前記対応する放送チャンネル周波数に同調するステップと、を含むホーム・チャンネル割り当て方法。

【請求項 2】ビデオ装置にホーム・チャンネルを割り当てる方法であって、
プロバイダに対応するチャンネル・ラベルを選択するステップであって、該選択されたチャンネル・ラベルは、前記ビデオ装置が小売業者に販売される前に、選択され、

前記プロバイダに対応する前記選択されたチャンネル・ラベルを記憶するステップと、
供給源からチャンネル情報を取得するステップと、

前記取得したチャンネル情報から、前記選択されたチャンネル・ラベルに対応する放送チャンネル周波数を決定するステップと、

前記ビデオ装置がオンにされたとき、前記対応する放送チャンネル周波数に同調するステップと、を含むホーム・チャンネル割り当て方法。

【請求項 3】前記各ステップを実行する機能が前記ユーザによってオン / オフされることを許容するステップを更に含む、請求項 1 記載のホーム・チャンネル割り当て方法。

【請求項 4】ビデオ装置にホーム・チャンネルを割り当てるシステムであって、
プロバイダに対応するチャンネル・ラベルを前記ビデオ装置のユーザによって選択する手段と、

前記プロバイダに対応する前記選択されたチャンネル・ラベルを記憶する手段と、
供給源からチャンネル情報を取得する手段と、
前記取得したチャンネル情報から、前記選択されたチャンネル・ラベルに対応する放送
チャンネル周波数を決定する手段と、

前記ビデオ装置がオンにされたとき、前記対応する放送チャンネル周波数に同調する手
段と、を含むホーム・チャンネル割り当てシステム。

【請求項 5】 ビデオ装置にホーム・チャンネルを割り当てるシステムであって、
プロバイダに対応するチャンネル・ラベルを選択する手段であって、該選択されたチャ
ンネル・ラベルは、前記ビデオ装置が小売業者に販売される前に、選択され、
前記プロバイダに対応する前記選択されたチャンネル・ラベルを記憶する手段と、
供給源からチャンネル情報を取得する手段と、
前記取得したチャンネル情報から、前記選択されたチャンネル・ラベルに対応する放送
チャンネル周波数を決定する手段と、

前記ビデオ装置がオンにされたとき、前記対応する放送チャンネル周波数に同調する手
段と、を含むホーム・チャンネル割り当てシステム。

【請求項 6】 前記ユーザが、前記ビデオ装置がオンになったときに、同調手段を、
対応するチャンネル周波数に同調させないようにすることを許容する手段を更に含む、請
求項 4 記載のホーム・チャンネル割り当てシステム。

【請求項 7】 ビデオ装置にホーム・チャンネルを割り当てるシステムであって、
プロバイダに対応するチャンネル・ラベルを選択する動作を行う、ユーザインタフェー
ス装置と、

前記プロバイダに対応する前記選択されたチャンネル・ラベルを記憶する動作を行うメ
モリと、

供給源からチャンネル情報を取得する動作を行うデータ・プロセッサと、
前記取得したチャンネル情報から、前記選択されたチャンネル・ラベルに対応する放送
チャンネル周波数を決定する動作を行うコントローラと、
前記ビデオ装置がオンにされたとき、前記対応する放送チャンネル周波数に同調する動
作を行うチューナと、を含むホーム・チャンネル割り当てシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

【従来の技術】

今日の殆どのテレビジョン装置は、電源が「オフ（OFF）」にされて、そして、次に電源が「オン（ON）」にされたとき、「オフ」にされる直前に選択されていたチャンネルに同調するように設定されている。営業用テレビジョン装置（例えば、ホテル、病院、その他の施設等で商用として使用されるテレビジョン装置）には、ホーム・チャンネル機能を持つように設計されており、且つ、特定のチャンネルがホーム・チャンネルとして割り当てられているものがある。そのような営業用テレビジョン装置は、「オン」にされると、「オフ」にされた時点でどのチャンネルに同調していたかに拘わりなく、常に、特定のホーム・チャンネルが選択される。従って、ホテル等は、特定のチャンネルをホーム・チャンネルとして割り当て、テレビジョン装置が「オン」にされる度にその特定のチャンネルが現れるように設定できる。一般に、ホーム・チャンネルが提供する情報には、「ペイ・パー・ビュー（従量課金サービス：視聴した分だけ料金を後払いするサービス）」の映画、ゲーム、および、その他の企業収益用プログラムの案内に加えてテレビジョン・システムについての情報が含まれている。尚、これらの営業用テレビジョン装置のユーザは、ホーム・チャンネルを変更することは出来ない。更に、これらの営業用テレビジョン装置は、使用される際、その電源投入時に、必ず、特定のチャンネル（番号）に同調するよ

うになっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の一形態に従うと、本発明は、テレビジョン信号受信装置にホーム・チャンネルを割り当てる方法である。この方法は、プロバイダに対応する選択されたチャンネル・ラベル (channel label) を記憶するステップと、供給源からチャンネル情報を取得するステップと、その取得したチャンネル情報から、上記選択されたチャンネル・ラベルに対応する放送チャンネル周波数を決定するステップと、ビデオ装置が「オン」にされたとき、上記対応する放送チャンネル周波数に同調するステップと、を含む。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

テレビジョン信号受信装置 10 は、テレビジョン信号供給源 (source) 12 に接続されている。このテレビジョン信号供給源 12 は、適当なアンテナ即ち空中線 (図示せず) で受信される地上波放送テレビジョン信号のようなテレビジョン信号の供給源の全て、ケーブル・テレビジョン (CATV) 配信システム (図示せず)、適当な受信用パラボラアンテナ (図示せず) を有する衛星放送システム (DSS、DBS 等) など、或いは、これらのシステムのあらゆる組み合わせを代表している。この発明の前提でもあるが、テレビジョン信号供給源 12 は、一般に、複数のテレビジョン・チャンネルを供給し、その各々のテレビジョン・チャンネルは、放送局、放送系列局、ネットワークなどからの個々の放送、即ち、プログラム・ストリームを供給している。この各々のテレビジョン・チャンネルは、テレビジョン信号と見なすことが出来る。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

テレビジョン信号供給源 12 からのテレビジョン・チャンネルの各々には、少なくとも、個々のテレビジョン・チャンネルのチャンネル・ラベル (チャンネル識別名) を含むチャンネル情報を供給する補助データが含まれている。また、テレビジョン・チャンネルの各々には、例えば、XDS、クローズド・キャプション等、その他の補助データも含まれることがある。従って、ここで言及する「補助データ」には、少なくとも、チャンネル・ラベルのデータが含まれている。或いは、1つのテレビジョン・チャンネルによって、EPGデータ形式の補助データが搬送されることもある。チャンネル・ラベルは、個々のテレビジョン・チャンネルの放送局、系列放送局、ネットワークなど (集合的に言えば「プロバイダ」) の識別名である。アメリカにおけるチャンネル・ラベルの例としては、NBC、CBS、FOX、ABC、ESPN、Disney Channel (ディズニー・チャンネル: DIS)、A & E、Animal Planet (アニマル・プラネット)、Travel Channel (トラベル・チャンネル)、TV LAND (ティービー・ランド) 等が挙げられる。アナログ・テレビジョン信号の場合、チャンネル・ラベルのデータは、垂直消去期間 (VBI) 中に供給できる。デジタル・テレビジョン信号の場合、チャンネル・ラベルのデータは、デジタル・データ内のパケットとして供給できる。ま

た、当然、その他の方法によって、複数のテレビジョン・チャンネルのチャンネル・ラベルのデータを供給してもよい。また、テレビジョン・チャンネルのチャンネル・ラベルとテレビジョン・チャンネルの番号とを相互に関係付けてもよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

テレビジョン信号受信装置10は、チャンネル・ラベルに基づくホーム・チャンネルの設定、或いは、選択を可能にする動作を行う。詳しくは、本発明の一形態に従えば、テレビジョン信号受信装置10は、「オン」にされたとき、自動的に同調されるホーム・チャンネルの設定を可能にする動作を行う。本発明のこの一形態に従えば、特定のホーム・チャンネル(チャンネル・ラベル)がテレビジョン信号受信装置10にプログラムされる。本発明の一実施例では、このホーム・チャンネルのラベルは、ビデオ装置が小売業者に渡る前に、製造業者等によって前もってプログラムされてもよい。これによって、テレビジョン製造業者、或いは、販売業者は、チャンネル・プロバイダのチャンネルをホーム・チャンネルに設定して、その設定料金をそのチャンネル・プロバイダに請求することによって、別途収益を得ることが可能になる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

これは、消去不可能なメモリ22に、選択されたチャンネル・ラベルを入力することによって行うことが出来る。また、当然、その他の方法で、その情報をテレビジョン信号受信装置10にコード化することも出来る。テレビジョン信号受信装置10が「オン」にされたとき、補助信号プロセッサ18はテレビジョン信号中の補助情報をスキャンする(これは、一般に、全てのテレビジョン・チャンネルについて行われる)。これによって、ビデオ装置が存在する特定のシステム或いは地域に於いて、どのテレビジョン・チャンネルの周波数が上記選択されたチャンネル・ラベルに対応しているかを決定する。その対応するテレビジョン・チャンネルが決定されると、テレビジョン信号チューナ14は、そのテレビジョン・チャンネルに同調する。そして、その情報はメモリ22に記憶される。これによって、その後テレビジョン信号受信装置10が「オン」にされる度に、ホーム・チャンネルのテレビジョン信号/チャンネルが表示される(即ち、テレビジョン信号受信装置10が上記対応するテレビジョン・チャンネルに同調する)。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の別の形態に従えば、ホーム・チャンネルは、ユーザが選択できる。ユーザによるホーム・チャンネルの選択は、テレビジョン信号受信装置10の製造業者/販売業者によるホーム・チャンネルの設定に加えて、両方可能にしてもよいし、或いは、ホーム・チャンネルを設定する唯一の態様にしてもよい。ホーム・チャンネルの選択は、任意事項でもよいし、必須事項でもよい。また、ホーム・チャンネルをユーザが変更できるようにしてもよいし、ホーム・チャンネル機能をユーザが解除できるようにしてもよい。ホーム・チャンネル機能を解除した場合、テレビジョン信号受信装置10は、「オフ」にされた

ときのチャンネルに対する同調を維持する通常の動作モード、即ち、一般的な動作モードに戻る。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

ステップ34で、テレビジョン信号受信装置10は、信号供給源からチャンネル情報を取得する。ステップ35では、取得したチャンネル情報によって、選択されたホーム・チャンネルを特定のチャンネルの番号或いは周波数に関連付ける。選択されたホーム・チャンネルが見つかり、即ち、取得されると、そのデータは、メモリ22に記憶される。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

最後に、ステップ36に於いて、テレビジョン信号受信装置10は、「オン」にされたとき、選択されたホーム・チャンネルに同調する。テレビジョン信号受信装置10は、「オン」にされたとき、ホーム・チャンネル機能が（たとえ「オフ」にすることが許される形式であっても）「オフ」にされていない限り、選択されたホーム・チャンネルに常に同調する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】

この発明を実施できるテレビジョン信号受信装置の代表例を示すブロック図である。

【図2】

この発明の動作態様の代表例を示すフローチャートである。

【図3A】

ホーム・チャンネルのメニューのオン・スクリーン表示を示す図である。

【図3B】

ホーム・チャンネルのメニューのオン・スクリーン表示を示す図である。

【符号の説明】

- 10 テレビジョン信号受信装置
- 12 テレビジョン信号供給源
- 14 テレビジョン信号チューナ
- 16 テレビジョン信号プロセッサ
- 18 補助データ・プロセッサ
- 20 コントローラ/プロセッサ
- 22 メモリ
- 24 オン・スクリーン表示（OSD）回路/論理
- 26 ディスプレイ

【手続補正12】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

